

# 今お医者さんが いなかった時代は、 こんなに大変だった!

また戦争が帰って  
いなかった時代は、  
手では直せられないような  
方法で病気を治そうとした  
こともあったんだ。

もちろん、戦争は  
悪やけど治し方も  
あったんだけど。

うわっ!  
血癖もしいで  
血癖をぬいちゃう  
なんて、痛そう!



**【病気が流行したとき】**  
武将の力で病気をよけ!

強い武将には病気を近づけない方があると  
考えられていた。だから、北条の宇智や足利  
などを倒すことによって病気をよけていたよ。

手だったら、注連はけすつ  
てつめ飾りをするのもでき  
るし、黄金の手形模倣だ  
ってあるのに...

**【頭が痛いとき】**  
はちまきをまく!

こめかみをキュッと押すと  
痛みが和らぐのよ。はちまきを  
まいて、ぬて置いているよ。  
特に「むらさき」という草で  
染めたのはちまきだと、鼻の下  
がると考えられていたんだ。  
そこから「むさ」でも、左利  
に結び替がるようにしてむら  
さき色のはちまきをするのが  
美人のしるしになったんだよ。

うーん、  
これだと、  
ちゃんと治らない  
ことも多かったんじゃない?  
ないの?

# 江戸時代は、30才でお年より?

## 日本人の平均寿命

